

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公開番号】特開2002-197516(P2002-197516A)

【公開日】平成14年7月12日(2002.7.12)

【出願番号】特願2000-393095(P2000-393095)

【国際特許分類第7版】

G 07 D 9/00

G 06 F 17/60

G 07 D 13/00

G 07 F 19/00

【F I】

G 07 D 9/00 4 5 6 A

G 06 F 17/60 2 3 6 A

G 07 D 9/00 3 2 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月19日(2003.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現金の取引を行う現金自動取引装置において、

貨幣を入出金する入出金口と、

貨幣を判別する判別部と、

貨幣を収納し、前記装置に対して着脱するカセットと、

前記装置にセットされる前記カセットに収納される貨幣の金種に対応して、前記装置を運用する運用情報を記憶し、記憶した前記運用情報に基づく制御を行う制御部とを有することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項2】

請求項1記載の現金自動取引装置において、

前記制御部は、記憶された前記運用情報を設定または変更することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項3】

請求項2記載の現金自動取引装置において、

表示し且つ係員が操作する係員パネルを有し、

前記制御部は、前記係員パネルを使用して前記運用情報を設定または変更することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項4】

請求項1記載の現金自動取引装置において、

前記制御部は、前記装置にセットされる前記カセットからカセット情報を取得し、取得した前記カセット情報が記憶された前記運用情報に適しているか否かを判断することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項5】

請求項4記載の現金自動取引装置において、

前記制御部は、判断した結果が前記運用情報に適している場合、前記装置の運用を継続し

、判断した結果が前記運用情報に適していない場合、その適していない旨を報告することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 6】

請求項 1 記載の現金自動取引装置において、

前記制御部は、前記装置にセットされるカセット情報から金種情報を取得し、取得した前記カセット情報の前記金種情報と、予め記憶された前記運用情報の前記金種情報との一致または不一致を判断することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 7】

請求項 6 記載の現金自動取引装置において、

表示し且つ係員が操作する係員パネルを有し、

前記制御部は、判断した結果が一致した場合、前記運用情報の前記金種情報に基づいて前記装置を運用し、判断した結果が不一致の場合、その不一致である旨を前記係員パネルに表示することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 8】

請求項 1 記載の現金自動取引装置において、

記憶された前記運用情報は、前記カセットが前記入出金口から入金される貨幣を専用に収納するか、または、前記カセットが前記入出金口から出金される貨幣を専用に収納するか、または、前記カセットが前記入出金口で入金および出金される貨幣を収納するか、を示す前記カセットの種別情報を含み、

前記制御部は、記憶された前記運用情報に含まれる前記カセットの前記種別情報に相当する情報を前記装置にセットされる前記カセットから取得するとともに、取得した情報に基づく運用の適否を判断することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 9】

請求項 1 記載の現金自動取引装置において、

記憶された前記運用情報は、貨幣を発行する国情情報を含み、

前記制御部は、記憶された前記運用情報の国情情報を相当する情報を前記装置にセットされる前記カセットから取得するとともに、取得した情報に基づく運用の適否を判断することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 10】

請求項 1 記載の現金自動取引装置において、

記憶された前記運用情報は、前記判別部で判別する貨幣の範囲を示す判別情報を含み、

前記制御部は、前記装置にセットされる前記カセットから収納する貨幣情報を取得し、取得した前記貨幣情報が前記判別情報の範囲内であるか否かを判断することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 11】

貨幣の入金または出金を行う入出金機構を具備する現金自動取引装置において、

前記現金自動取引装置を制御する本体制御部を有し、

前記入出金機構は、貨幣を入金または出金する入出金口と、前記入出金口から入金される貨幣を判別する判別部と、前記判別部で判別された貨幣を一時的に保管する一時保管部と、前記判別結果に応じて貨幣を収納し且つ前記入出金機構に対して着脱する複数のカセットと、前記入出金機構を制御する制御部とを有し、

前記入出金機構の前記制御部は、前記入出金機構にセットされる前記カセットからカセット情報を取得するとともに取得した前記カセット情報を前記本体制御部に送信し、

前記本体制御部は、前記制御部から送信される前記カセット情報を取得するとともに記憶された前記現金自動取引装置の運用情報を前記入出金機構に送信することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 12】

請求項 11 記載の現金自動取引装置において、

前記本体制御部または前記入出金機の前記制御部は、前記入出金機構にセットされる前記カセットの着脱を常にまたは一定間隔で監視し、

前記監視によって前記カセットの再セットを検知した場合、
前記本体制御部は、前記制御部から送信される前記カセット情報を再度取得するとともに
記憶された前記現金自動取引装置の前記運用情報に適しているか否かを判断することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 1 記載の現金自動取引装置において、

前記本体制御部は、前記制御部から送信される前記カセット情報のうち金種情報を取得し、
その取得した前記金種情報が記憶された前記運用情報に適しているか否かを判断し、
前記本体制御部が前記運用情報に適していると判断した場合、前記運用情報に基づいて前記現金自動取引装置の運用を行ない、

前記本体制御部が前記運用情報に適していないと判断した場合、その適していない旨を報告することを特徴とする現金自動取引装置。

【請求項 1 4】

請求項 1 1 記載の現金自動取引装置において、

前記入出金機構の前記制御部は、前記本体制御部に記憶された前記運用情報を取得して前記カセット情報が適合するか否かを判断することを特徴とする現金自動取引装置。